

●京阪・地下鉄谷町線「天満橋」駅より西へ300m ●京阪・地下鉄堺筋線「北浜」駅より東へ500m ●JR東西線「大阪天満宮」駅より南へ850m

お問い合わせ

NPO法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク(JSN) 茨木
就労定着支援フォーラム事務局 (担当: 屋敷千晴)

Tel: 072-645-6633 Fax: 072-645-6644 Mail: syuurou.teityaku@gmail.com

参加申込書 (この面をそのままご送ください。)

代金をお振込みの上、下記までFAXでお申し込みください。 ※振込手数料はご本人様負担をお願いいたします。
メールでのお申し込みの際は、下記①～⑩の内容を本文にご記載の上、ご送ください。

申込先: JSN茨木 宛 FAX: 072-645-6644 Mail: syuurou.teityaku@gmail.com

振込先: 三井住友銀行 茨木西支店 普通 0652126 NPO法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク 田川精二

締切: 平成29年7月21日(金) (定員になり次第締め切ります)

申込日: 平成29年 月 日

①申込内容: ※該当日に○を お付けください。	フォーラムのみ (8/4) 3,000円	養成講座のみ (8/5) 5,000円	両日 (8/4・5) 8,000円
②ご所属:	フリガナ		
③参加者氏名:			
④ご住所: 〒			
⑤Tel:	⑥Fax:		
⑦Mail:	※メールにて参加証をご送付いたしますので、必ずご記入ください。		
⑧振込人名義:	⑨振込日:		H29年 月 日
⑩領収書宛名: (必要な方)			

・お預かりした個人情報はフォーラム管理のみに使用し、その他目的では一切使用いたしません。
・キャンセルの場合、返金はいたしかねます。ご了承ください。
・お申し込み日から10日以内に参加証を送付いたします。万が一こちらからの連絡がない場合は、お手数をおかけいたしますが、担当者までご連絡ください。

第1回 精神・発達障害者 就労定着 支援 フォーラム in おおさか

2017 8/4 FRI 8/5 SAT

会場:
エル・おおさか
(大阪府立労働センター)

DAY 1

8/4

FRI

第1回

精神・発達障害者

就労定着支援フォーラム

in おおさか

時間：12:40～18:00（受付開始 12:00から） 場所：エル・シアター（エル・おおさか）本館2F

定員：300名（要予約） 参加費：3,000円 対象：精神・発達障害者の就労支援に関わる方

雇用の義務化を来年に控えた精神障害者の就労は、既に平成25年に新規就労件数で身体障害者を上回り、知的障害者を含めた三障害で最も多くなっています。一方で就労から1年後の職場定着率は、平成22年調査で40%強にとどまっています。直近の数字は改善傾向にあるとも言われますが、精神障害者の就労上の課題が職場定着にある事は明らかです。また、昨年の発達障害者支援法改正においても、発達障害者の「就労の定着のための支援」が国および都道府県に対して、「雇用の安定を図る」ことが事業主に対して、それぞれ努力義務として明確化されましたが、いずれの障害も障害特性の個人差の大きさが特徴として指摘されています。

本フォーラムでは、これら個別性の高い精神・発達障害者の就労定着支援で求められる視点とは何か、福祉、医療、行政それぞれの立場からの報告や議論を通じて、参加者と課題や将来展望を共有します。

当日のスケジュール（内容・担当者等、詳細は変更となる場合があります。）

時間	プログラム
	受付開始 (12:00 -)
12:40 - 12:50	開会のあいさつ NPO法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク (JSN) 統括施設長 金塚 たかし
12:50 - 13:30	行政報告 「精神障害者の就労支援における国の制度」 ～平成30年創設 定着支援事業の骨子～ 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課より
	休憩 (13:30 - 13:40)
13:40 - 14:40	基調講演① 「安定した職業生活を目指して」 ～働く本人と企業・支援関係者の情報共有、連携の視点から～ 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センター 主任研究員 相澤 欽一
	休憩 (14:40 - 14:50)
14:50 - 16:00	基調講演② 「定着を見据えたトレーニングとは」 ～340名の就職実績からの検証～ NPO法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク(JSN) 理事長 / くすの木クリニック 院長 田川 精二
	休憩 (16:00 - 16:15)
16:15 - 17:50	シンポジウム テーマ「働き続けるを実現するために!!」～各地域での取り組み～ パネリスト：大阪府商工労働部 雇用推進室 就業促進課より 大阪府福祉部 障がい福祉室 自立支援課より 社会福祉法人 やおき福祉会 紀南障害者就業・生活支援センター センター長 清水 望 社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会 就労移行支援事業・自立訓練事業 ピアス 施設長 高橋 しのぶ 医療法人社団 ほっとステーション 大通公園メンタルクリニック 主任精神科ソーシャルワーカー 佐々木 渉 コーディネーター：NPO法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク(JSN) 統括施設長 金塚 たかし
17:50 - 18:00	開会のあいさつ NPO法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク (JSN) 事務局長 保坂 幸司

DAY 2

8/5

SAT

本人を孤立させない
SPIS相談員養成講座

時間：10:00～17:00（受付開始 9:30から） 場所：エル・おおさか 7F 709

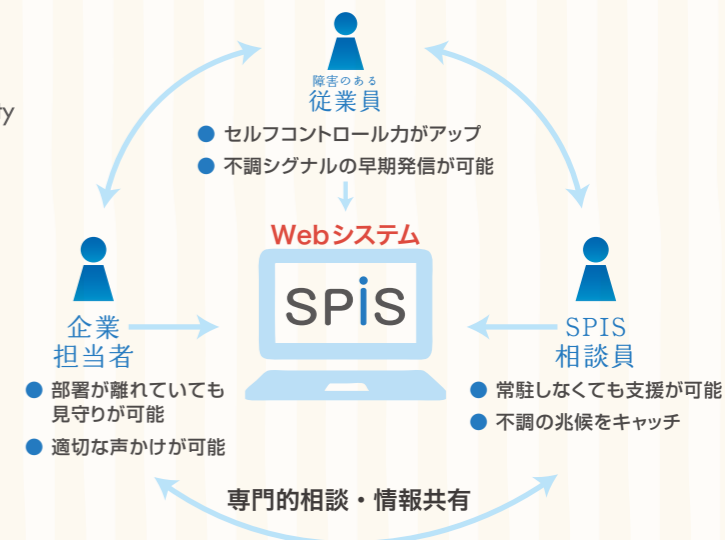
定員：50名（要予約） ※うち、希望者30名は後日開催される第2回～第6回の基礎講座への参加が出来ます。

参加費：5,000円 対象：精神・発達障害者の就労支援に関わる方



精神・発達障害者に効果的な就労定着支援システム

「SPIS (Supporting People to Improve Stability)」は、Webシステムを利用して精神・発達障害のある従業員と雇用企業、外部相談員の三者を結び連携プラットフォームです。このプラットフォーム内で、当事者従業員は自身の心身コンディションを示す指標を自ら設定し発信します。雇用企業の担当者と SPIS 相談員はその情報をリアルタイムで共有し、当事者の自己コントロール力と職場の当事者サポート力を向上させるべく、システム内のコミュニケーションを通じて相互に働きかけます。
※SPISは、有限会社奥進システムの登録商標です。



当日のプログラム（第1回「SPIS概論」）（内容等、詳細は変更となる場合があります。）

時間	内容
	受付開始 (9:30 -)
10:00 - 10:40	①SPISシステムの説明 (40分) SPISの説明開発目的から導入効果まで、操作方法もレクチャーします。
10:45 - 12:00	②SPIS運用説明 (1時間15分) SPISの3つの特徴と、カウンセリングマインドとコーチングスキルについて具体的に説明します。
	昼食休憩 (12:00 - 13:00)
13:00 - 15:00	③セルフチェック項目設定演習 (2時間・途中休憩あり) セルフチェック項目の仕方をグループワーク形式で学習します。
15:00 - 17:00	④コメント演習 (2時間・途中休憩あり) 外部支援者として適切なコメント内容を、グループワーク形式で学習します。

第2回～第6回のプログラム（開催日時と場所は5/10現在調整中）

- 第2回「ケーススタディ1」： 発達障害者の事例を基に、外部支援者としてコメント入力の内容を学習します。
- 第3回「SPIS研究1」： 当事者の生きにくさを「WRAP」を活用して演習形式で学習します。職場担当者の役割では「人事担当者の困りごと」をまとめ、外部支援者の役割ではコメントを客観的に見ていきます。
- 第4回「ケーススタディ2」： 躁うつ病患者の事例を基に、外部支援者としてコメント入力の内容を学習します。
- 第5回「SPIS研究2」： 「こんなケースの場合、あなたならどうコメントするか？」をテーマに、入力量の多い人、休日も入力する人、人事異動の不安、等への対応方法を考えます。また、書き言葉の留意点を学習します。
- 第6回「ケーススタディ3」： 統合失調症の事例を基に、外部支援者としてコメント入力の内容を学習します。